第91回メーデー ネットで配信

ネット配信された第91回メーデー室内集会の模様

千代田区職労
退職者会ニュース
第2020-4号
20年6月10日
退職者会ニュース編集委員会
3221-0052

日本初のメーデーから100年目

5月1日、風が強いものの朝から良く晴れた素晴らしいメーデー日和でした。いつもならスニーカーを履き帽子を被った参加者が続々と代々木公園に集まってくるのですが、今年の代々木公園は誰一人集まることなく閑散として青い空が広がっていました。集会ではインターネットを通じて一層の団結が呼びかけられました。

1月中旬から始まった新型コロナウイルスの猛威はとどまるところを知らず、4月になっても治まるどころか政府が緊急事態宣言を発するまでになり、ついに記念すべき100年目のメーデーも野外での集会やデモを実施することが出来なくなってしまいました。

1920年　第1回メーデー

太平洋戦争前後の10年間の中断はあったものの、戦後初めて中止となり、代々木メーデーはこれも初めてインターネット動画配信となりました。

式典開始はネット配信にてこずったのか、1時間半遅れてネット式典が開始されました。

このような時こそ 自由と民主主義を！

会場は全労連会館の会議室となり、労働者の参加はなくメーデー代表委員らがひな壇に座るだけという、少々寂しいものでした。式典は議長団の開会宣言の後、主催者代表として小田川全労連議長があいさつに立ち、「新型コロナウイルスによって集会は困難となったが、インターネットを通じてこんな時こそ、団結を強めていこう。コロナの感染拡大を防ぐため、対策の

退職者会員のみなさん、お元気でお過ごしでしょうか。新型コロナの感染拡大もようやく収まりを見せていますが、これからの第二波感染拡大を憂慮する声も多く、まだまだ気を緩めることはできません。感染を防ぐことはもちろんですが、2ケ月以上に及ぶ自粛生活で心や体に変調をきたさないよう、さらに注意が必要です。

特に高齢の私たちは「フレイル」に気を付けなければなりません。フレイルとは「加齢とともに心身の活力（運動機能や認知機能等）が低下し、慢性疾患の影響もあり、生活機能が障害され、心身の脆弱性が出現した状態」とされています。自粛生活が長引くことで、家に閉じこもり、人との会話が少なくなり、食事も偏ってしまう、といった生活が危険信号です。体を動かさないことによる筋肉の衰えは早く、他人とのふれあいが減ることで認知機能も低下します。持病の悪化も招きかねません。特に新型コロナなどの感染症にかかりやすく重症化することが指摘されています。

以下の退職者会版「高齢者の新しい生活様式3点」を実践して、フレイルを防ぎ免疫力を高めて健康を維持しましょう。

「高齢者の新しい生活様式」実践で 心と体の健康維持に努めましょう！

① まずは屋外に出ての散歩です。なるべく人通りの少ない場所と熱中症になりにくい時間を選んで、積極的に外へ出ましょう。

家の中でも座っている時間を減らし、立ったり歩いたりする時間を増やすことも大切です。テレビを見ながら足踏みしてみるなど身体を動かしてください。関節も固くならないように気を付けてラジオ体操のような家の中でできる運動でも、筋肉の衰え予防に役立ちます。段差の上り降りも有効です。

② 次に栄養バランスの良い食事を心がけましょう。特にたんぱく質とビタミン類の摂取に気を使ってください。キノコ類にはビタミンDが多く含まれていて、免疫力を高めるにはおすすめです。

③ 高齢者とって、人との交流はとても大切です。外出を控え人と会う機会が減ったことで、孤独感やストレス、不安を感じていませんか。直接会って話ができなくても、電話やメール、オンライン通話、SNS等を使って、家族や友だちと連絡を取ることが大切です。

安心できる人と話したり笑ったりすることで、気持ちが楽になり、心の安定につながります。

早期実現を政府にせまり、困難な医療や介護の現場を支える労働者の献身的取り組みにこたえなければならない。こういう時期だから「政府批判は控えるべき」と主張し、強権的な強いリーダーシップを求めるなど、自由と民主主義をみずから手放す動きに対してはっきりと反対していかなければならない。」と訴えました。

例年であれば、各界の代表がつぎつぎに壇上へ上るのですが、今年はすべてビデオメッセージでのあいさつとなりました。

政党からは共産党の志位委員長、また全労協・渡邊議長からの連帯あいさつ、東京土建、新宿区労連、出版労連、東京医労連からの決意表明と続き、韓国、米、仏、伊など海外の労組からのメッセージも寄せられました。

第91回メーデーは、メーデー宣言を採択した後団結ガンバローで終わりました。

なお、この模様は全労連のホームページあるいはユーチューブのサイトから「2020 全労連メーデー」で検索すると閲覧することが出来ます。

松とテツ コロナ問答

松　コロナとのたたかいは長引きそうだね。

テツ　終戦後に生まれて戦争を経験しない奇跡の時代を70年余生きてきて、このまま「奇跡の人生」を全うできるかと思った矢先に、予想もしなかったコロナ禍だ、人生何が起こるかわからないな。

松　「コロナ太り」という言葉が流行るくらい体に悪い日々を送っているけど、精神状態も穏やかじゃあないよ。

テツ　うん、テレビを見る時間も長いので、報道番組をつい見ているけど、腹の立つニュースが多くて、心がざわつきっぱなしだよ。今日は君を相手にうさをはらすけど、いいかい。

松　ああ、願ったり叶ったりだよ。かみさん相手にぶつぶつ言っていると強烈なしっぺ返しを食らって余計むしゃくしゃする。この際僕も、溜まった愚痴を吐き出すよ。まずはアベノマスクだな。今だに届きゃあしない。

テツ　俺んちは届いたが、全くの不要物だな。こんな川柳が浮かんだよ「マスク着き　なぜか怒りが湧いてきた」。結局260億円もの無駄遣いというわけだ。

首相補佐官の一人が進言した「マスクを配れば国民の不安は一気に解消しますよ」との言葉に安倍が飛びついて独断で決めたというから、人気取りに使ったとしか思えない。

松　巨額な経費を人気取りに使ったのなら許せない、怒るのはわかるよ。結果は大いに人気を下げたわけだが…。

テツ　こんな子供だましの対策しか打てないとは、本当に情けない。これだけの金額を有効に使ったらどんなに多くの人が助かったか。

松　独断といえば、学校の一斉休校も唐突で学校や生徒児童、父兄に混乱と犠牲を強いたね。文科大臣が慌てて官邸に駆け付けたというから、文科省さえも知らされていなかった。これも官邸内の官僚の差し金だそうだ。

テツ　一斉休校がどれだけの影響や問題を引き起こすかという分析も検討もなしに、現場を知らない連中の発案だ。

松　コロナ禍で国の指導者の力量が試されたが、日本の首相はこんな思い付きの施策しか打てなかった。力量が知れた。

テツ　まったくだ。一昨年、北朝鮮の脅威をことさらにあおって、必要もないイージスアショアー2基6千億円の導入を決めたことを思い出したよ。架空の軍事脅威には湯水のように金を使って「国難」と訴えたが、本当の国民的脅威を前にマスクを配ることしかできなかった。無能さとお粗末さを自ら暴露してしまったね。

松　マスクはそれぐらいにして…、政権は今度も肝心なことはやらずに、不要不急のことばかりやろうとしたね。

テツ　ああ、検察庁法案に代表されるな。コロナのどさくさに紛れてこっそりやろうとしたけど、一人の女性の「#検察庁法案に抗議します」の一言で広範な国民に安倍の無法ぶりがばれてしまった。

松　瞬く間に900万の声に広がった。びっくりしたな。たいしたもんだ。

テツ　俺は皮肉な川柳が頭に浮かんだくらいだよ。「若者はスマホ片手にハッシュタグ」「年寄りは電車乗り継ぎ国会へ」

松　そんなにひがむことはないよ。とにかく圧倒的な国民の声が集まれば、悪政をやめさせることができるという力を示したんだから。

テツ　もちろん、俺も感動している。

松　不要不急と言えば、9月入学のことも同じだな。コロナに集中すべき時にやることじゃあない、という正論で立ち消えになったが、親たちも慌てたと思う。

テツ　もっとひどいのは、この機会に憲法改正を進めようとしたことだよ。それも「緊急事態」という中身は全く違うことを言葉遊びのようにこじつけて、憲法改正の必要性を説くという卑劣なやり方で…。何かと私物化の激しい安倍政権だが、憲法まで私物化しようとしている。

松　まだまだ言いたいことはあるけど、ひとまず休憩しようよ。のどが渇いたよ。

テツ　そうだな、中間まとめをしておこう。

コロナ禍という未曽有の災厄に襲われて、政府は本来、国民の命と暮らしを守るために野党を含めて国民各界層と知恵と力を結集し総力を発揮しなければならないのに、独断専行で何の役にも立たないことに傾注し、やるべきことを疎かにし、やるべきではないことにこっそりと力を注ぐという、姑息で無能な姿をさらした。その結果、国民はもはや愛想をつかし、内閣支持率は激減し不支持率が上回る事態になっている、ということだ。

松　最終まとめは次号かい！

テツ　まだ分からない。ただ、今の政権は風前の灯火だから、劇的な変化が起こって、政府国民が一体となってコロナ禍の収束をやりとげた、となってほしいな。

コロナ川柳

役立たず　アベノマスクの無駄遣い
様変わり　おしゃれの一部　マスク顔
電車内　咳する人に刺す視線
ステイホーム　コロナの次はロコモ増え
アマビエに　薬をもすがる　神頼み

狸穴

公表で　密押し寄せる　パチンコ屋
政権も　マスクも　カビにまみれてる
不祥事を　アベノマスクで　口封じ
要らないが　来ないと無性に腹が立つ
「感」だけじゃ　いつまで待っても届かない

小人

隠さない　巨人の姿
アベよ見よ
アンチG

コロナから逃げて
お菓子の量増える

きよこ

脳トレクイズ

渡辺 富子

次の問題の？に当てはまるものはなんでしょう。（答えは2ページに）

1. H → F → ？→ B → 2B
2. 京 都＝F　東 京＝T
   北海道＝D　群 馬＝？
3. 兄 → 肉 → ？ → 父
4. #＝4　$＝3　%＝0　&＝？

コロナ禍に乗じた改憲を許すな！

―憲法集会がネット発信で開催―

新型コロナの感染拡大の中で、5月3日に予定されていた憲法集会は、国会前で市民らによるスピーチをインターネットで発信する形で開かれました。

開会あいさつで総がかり行動実行委員会の高田健氏は、コロナウイルスの危険とあわせて、安倍政権による重大な人災の側面を指摘しないわけにはいきません、として対策の遅れや自粛に伴う補償などの政策が極めて不十分であると述べました。そしてこうした重大な事態であるにもかかわらず、安倍政権が改憲推進に言及し、与党は野党の同意抜きで憲法審査会の再始動を強行しようとしていることを批判。韓国で緊急災害支援金の財源確保のため国防費を財源に充てることを閣議決定したことをあげ、コロナの災禍の中で、憲法第９条がいっそう輝きを増していると語り、創意工夫してこの戦後最悪の安倍政権の悪政に反対し、近い将来かならず政治を変えるために奮闘しようと呼びかけました。

コロナ危機で問われる平和、人権、民主主義

早稲田大学名誉教授の浅倉むつ子氏は、コロナ危機によって差別や憎悪の嵐が世界中を脅かしている現在にこそ、日本国憲法を貫く本当の平和主義と反暴力の考え方を世界に向かって発信すべきだと発言しました。

国際基督教大学元教授の稲正樹氏は、憲法が定める国民の生命権や基本的人権が安倍政権のコロナ対応で守られていないと指摘し、いままた憲法を破ってきた張本人が緊急事態の名目で改憲をすすめようという企みを許してはいけない、と述べました。

ジャーナリストの堀潤氏は、コロナ危機の不安や恐怖によって民主主義が問われていると語り、「あなたが、あなたらしくいられること」は沈黙の先には叶わない。今こそ、連帯して声を上げていきましょうと訴えました。

また、福島原発告訴団団長の武藤類子氏、沖縄・一坪反戦地主会関東ブロックの青木初子氏、芸人９条の会・落語家の古今亭菊千代氏、安保法制の廃止と立憲主義を求める市民連合の山口次郎法政大教授から寄せられたメッセージが代読されました。

政党からは立憲民主党、国民民主党、日本共産党、社会民主党がメッセージを寄せていました。

集会は、総がかり行動実行委員会の小田川義和氏から、私たちはどんな状況にあっても安倍政権に９条改憲を断念させるまでたたかいを止めることはありません。署名を軸に、草の根からの取り組みを粘り強く継続しましょう。との行動提起があり、最後に集会宣言を確認して終了しました。

脳トレの答え

1．HB（鉛筆芯の硬さ）
2．K（ちょうちょに大阪はド）
3．ロ（しりとり）
4．2（交点）

元気でいま～す　　水上 末二

皆さん、お元気ですか。私はおかげさまで元気に過ごしています。新型コロナウィルス感染拡大にともなう不要不急の外出自粛は長いですね。早く元の生活に戻りたいです。外出自粛と言われても、生活のための買い物は欠かすわけにはいかず、マスクをし、３密と衛生に気遣いながら出掛けていますが、気疲れします。

今後、日本の経済はどうなるのでしょうか。とても心配です。学生さんは学業を続けられないとか、個人のお店も廃業を考えているとか、大手企業も倒産が出ている状況をみると、本当に心配になります。高齢者に対しても、厳しい事態になるのでしょうか。そうなっては困りますね。

国会の方も目が離せませんでしたね。検察庁改定法案、今国会での採決断念の結果になって良かったです。国民のがんばり、野党のがんばりで断念に追い込んだと報じられました。国会審議を通じて、同法案が三権分立と法治主義を壊すものだということ、こんな大事な「個別の検察幹部の役職定年延長問題」と「一般国家公務員の定年制の延長問題」とを一括審議として扱ってほしくないと思いました。

福島 むつ子

私の住む葛飾区奥戸は、京成立石から12，3分、中川の橋を渡ると直ぐです。高層ビルは少なく高くても１５階くらい。荒川から都心方向に比べると空が広い。付近の中川は自宅から３分位の所にあり、堤の上部と内側階段下に遊歩道があります。遊歩道の階段下では釣りを楽しむ人もいたり、散歩、ジョギング等する人も多くみられます。堤から区立体育館、運動公園、スポーツセンターまで続いています。また、スカイツリーの夜景が見える展望台もあり（片側スロープで反対側は１２段位の階段）、２．５メートル位の高さですが、ここからスカイツリーの上から下まで見え、ピンクや青色等、日によって色が変化するのが楽しみです。雨天以外は毎夜犬のステップとスカイツリーを見に散歩しています。ステップは旅先の牧場からついてきてしまい、そのまま我家の愛犬となりました。胴長短足耳尾長く目大きくて毛モジャで高齢１３歳。毎日一緒に３回歩き、7千歩以上歩いています。また、葛飾新婦人の活動にも参加。安倍首相の桜を見る会、桜に使った税金返されるべし！普通なら犯罪ですよネ。

この７月に、熊本に住む娘が第3子を出産する予定。手伝いに行くので、それまでコロナウイルスが終息するよう願っています。

新型コロナウィルス・自粛生活について

寺山 光秀

退職者会、幹事＆会員の皆様、新型コロナウィルスで自粛生活が続いていますが、いかがお過ごしでしょうか？

私ごとで言い訳になりますが、新型コロナウィルスで公共施設が使用できず、運動不足で体重増加になり、５～７キロ増えました。

前回（2月）糖尿の気があると先生に言われましたが、今日、日赤病院に行き、先生から栄養指導を受けてください、と指導されました。新型コロナウィルスで自粛生活がなければこんなことにならなかったかなぁ、と思っています。

ところで、新規感染者が減少傾向にある中、明るい兆しも見え始めています！幹事さん＆会員の皆様は「コロナ後」への思いをどのように考えていますか？

感染拡大収束後は、

◎　こんな事がしたい！
◎　こんな所に行ってみたい！
◎　今、一番会いたい人は！
◎　自粛期間中に感じた幸せや感謝等！
◎　面白いエピソードなど！

いろいろと自粛期間中に感じたこと＆思うことを考えてみてはいかがでしょうか！

収束を信じて、頑張りましょう！

ビデオ通話でステイホームを乗り切る

平山　茂

４ヶ月前には予想も付かなかった事態の進行に、心のざわつく日々を送っています。以前は、毎月のように都心まで足を運び、友人と会って食事をし、買い物も楽しんでいました。それが、２月下旬を最後に、電車にも乗らず、友人との会食も全くできない状態が続いています。

でも、スマホのアプリさえあれば、友人や肉親と会って話しをしたいという希望を簡単に叶えることができます。代表的なのは、ラインという無料通話アプリです。ラインでのビデオ通話は、１対１だけでなく、数人のグループでもできます。相手が世界中どこにいても、無料です。

ラインのグループビデオ通話を使い、孫と久しぶりに対面したり、中学校以来の友人たちと話したり、千葉、東京、台湾を結んで井戸端会議に花を咲かせたりしています。表情が見えると、元気にしている様子が分かり、気持ちがホッとします。

最近では、ラインだけで無く、ノートパソコンでも参加

できるズームやスカイプでの無料ビデオ通話の利用も増えてきました。まだ使ったことがない人は、一歩前に踏み出して、ビデオ通話の新しい世界を体験してみてはいかがでしょうか。

山口 智子

緊急事態宣言が解除されました。みなさま、どうお過ごしでしたか？

毎日繰り返されるコロナニュースにうんざりでした。

それでも7月には都知事選なんですよ！小池都知事は毎日ＴＶで顔を売っていて…。

一般報道を見ている限りでは都知事選挙の「せ」の字もなくて。都民の意識に選挙はないのでは？どうなるのか心配です。

あと１ヶ月余りですが、私「“市民と野党の共闘”で小池都政の転換を」の呼びかけ人に参加しました。だってコロナ禍の３月末に、大事な公共医療機関を減らすこと決めるなんて信じられない!!　特に何かができるわけではないのですが参加することに意義がある（?!）

大変な時だからこそ元気出しましょうね。

前号に続き、新型コロナウィルスの感染を予防するために、ひたすら自粛生活をされている会員の皆さんの、日ごろの思いや暮らしの様子を投稿してもらいました。

なお、幹事会も２月１４日を最後に集まることができず、リモート会議には設条件が整っていず、みなさんに幹事会の情報を提供することができません。お許しを！

土屋 喜代子

自粛疲れが出てきましたね。体も精神も健康に保つことの重要性をこれほど感じたことはありませんでした。とにかく好きなことをやる、趣味を持っていて良かったと思います。

絵手紙、書道、ジョギング、料理・・これまで充分にできなかったことがやれて、困難をいい機会にしています。

声をあげよう！

渡辺 富子

隣接の中学校から子供の声が聞こえない。団地の広場で遊ぶ子供がいない。

私は、週１回のスーパーの買い出しとゴミ出しの外は外に出なくなったし、ドアノブの消毒以外玄関を開けない日もある。市外に住む百歳の母の顔さえ見ない引きこもりの毎日だ。

シャワーのように流されるコロナ禍ニュース、すすまないPCR検査、不足している医療、出さないお金、なんでいま検察庁法案なの、イライラで叫びたくなる。

散歩がてらのウォーキングを再開した。雑木林の中は新緑がすがすがしい。満開の草花金ラン、銀ラン、エビネ、十二単、山つつじ、多摩のカンアオイ、クレソン、朝の光でキラキラしていた。そして、心から思った。安倍政治を辞めさせたい。もうあなたはこりごりだ。国民の声が届く政治、うそをつかない政治、戦争をしない政治にしたい。

声をあげるぞーっ。